

## 一般社団法人 環境地盤工学研究所 平成 27 年度通常総会 議事録

1. 日時：平成 27 年 8 月 29 日（土）14:00～14:40
2. 場所：京都大学 芝蘭会館 稲盛ホール（京都市左京区吉田近衛町）
3. 出席者：個人会員 33 名、法人会員 21 社
4. 配布資料：  
資料－1：一般社団法人環境地盤工学研究所平成 27 年度通常総会資料  
資料－2：第 8 回環境地盤工学研究会 講演資料

### 5. 議事等：

平成 27 年度の通常総会の開催に当たり、嘉門理事長から当法人は昨年 7 月に活動を始めたが、多くの皆様のご賛同を得て、本年 6 月末で 102 名の個人会員、法人会員 40 団体の参加に至っている。各位のご支援に対して深く感謝するとともに、本日の総会での議論を通して平成 27 年度も環境地盤工学に関する研究・技術開発・普及等について、継続してご支援・ご指導を賜りたいと述べた。なお、事業年度は 7 月 1 日から翌年 6 月 30 日までとすることを再確認した。

司会の乾理事から当法人の定款第 16 条に則り、議長を代表理事が務めることになっていることから、嘉門理事長が議長を務めると発言があり、平成 27 年度の総会の開催を宣言した。

### (1) 議案

#### ・第 1 号議案 「平成 26 年度事業報告に関する件」

議長の指示で勝見理事が、あらかじめ配布した資料に沿って、平成 26 年度の事業活動の報告を行った。当初予定した講演会やフォーラムによる知識普及事業、研究委託や技術相談の紹介業務等について説明するとともに、新たに組み込んだ若手研究者研究助成事業 2 件の報告を行った。

さらに、昨年 12 月 10 日に開催した設立総会では 90 名の参加を得て盛会であったこと、今年 3 月 2 日の第 1 回 RIEG フォーラムを開催したことを報告した。

#### ・第 2 号議案 「平成 26 年度決算に関する件」

引き続き勝見理事から当期の決算状況について報告した。

当法人収入は会費収入が主であるが、寄付金並びに交流会参加費などを含め当期収入総額は 2,974,163 円であった。一方経費については、2 件の若手研究者研究助成金が 600,000 円、事務室賃貸料が 360,000 円となったが、次期繰越金として 511,691 円を平成 27 年度の活動に向けて留保できた。最後に村田監事が記載した監査報告書を読み

上げた。

議長は監事に監査のお礼を述べた後に、「事業報告、決算全体についてご質問・ご意見等はありませんか」の問いかけを行ったが、特に質問は無く承認された。

## (2) 報告事項

### ・報告事項1 「平成27年度事業計画について」

嘉門理事長から平成27年度の活動予定の概要を説明した。前年度の活動を踏襲して、環境地盤工学に関わる多様な課題の解決と、人財の活用を推進し、社会貢献に資することを目指して次のような活動を実施する。

#### (1) 環境地盤工学に関する内外の調査研究に関する業務

所属する3理事の研究活動を通じて実施し、関連学会等での講演発表などを今後もRIEGホームページにて公開し、会員への情報提供に努める。

#### (2) 環境地盤工学に関わる技術開発と指導

理事との個別面談を通じて会員の要望に応えるように努める。ただし、個別に委託研究が必要となる場合は平成26年度と同様に、他の財団などへ受託研究の受け入れを斡旋する。

#### (3) 環境地盤工学に関わる一般への普及

会員への情報提供を中心に、講演会を第8回環境地盤工学研究会として平成27年8月29日に開催するほか、第2回RIEGフォーラムを平成28年初め頃に開催を予定している。

#### (4) 若手研究者研究助成事業の推進

環境地盤工学に関わる若手研究者助成事業として本年度は3名程度まで助成する。法人会員の方も所属の40歳未満の若手研究者に応募を促してもらうように依頼した。ただし、研究助成に採択された際には、当該者は当法人の個人会員として入会することを前提条件とすることとした。

#### (5) その他、当法人の目的を達成するために必要な業務

ホームページの充実には今後も努力し、可能な限り迅速なアップデートを行う。さらに、環境地盤工学に関わる人財の活動支援事業としてRIEG人財バンクのデータ収集に努め、今年度中にRIEGホームページにアップデートして、各法人会員の企業活動における人財活用へのマッチングを進めたい。

・報告事項2 「平成27年度収支予算について」

平成27年度予算については、収入予定総額が3,285,691円であり、本年度活動予定の経費については課題が無いことが説明された。また、個人会員の会費の納入を銀行送金としていることから、送金手数料が無駄であるというご意見が一部会員からあり、5年間分の会費の一括送金をお受けして、事務的には前受け金として処理するとの報告があった。

・報告事項3 「会員に関すること」

平成27年度会員については、平成27年8月15日現在で個人会員は114名、法人会員は44団体に及んでおり、平成26年度を上回る状況で推移している。

さらに、個人会員については高齢の方も多いため、年度末の時点で75歳になられた会員については、お申し出によって「特別会員」として年会費を免除させていただくことにした。ただし、活動への参画はこれまでどおりでお願いする。外国在住の方についても、お申し出に基づいて「特別会員」に準じた取り扱いとする。

議事経過要旨及びその結果を明確にするために、出席の理事は次に押印する。

平成27年8月29日

一般社団法人 環境地盤工学研究所

代表理事

嘉門 雅史



理事

勝見 武



理事

乾 徹

